



2025.4.16 第1号

森田 博

6年「植物のからだのはたらき」

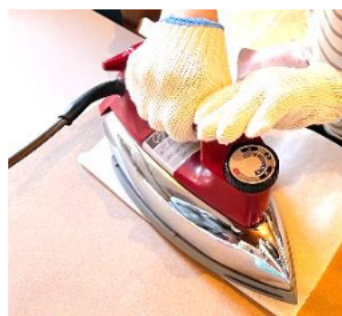
じゃがいも袋栽培

ペットボトルキャップでキーホルダー

理科の準備で GO!!～袋栽培ででんぷん観察～

私の担任発表は、今年もなく5年目の理科専科をさせていただくことになりました。5年目ということで5!GO!そこで、「GO!GO!理科!」と自分の理科への思いを着任式で叫びました。毎年、この着任式で発した言葉を、理科専科通信のタイトルにしています。私の家族の一人がチアダンスをしていて、たまにポンポンが余っていたので、これ使える!と思ったから使ってみました。同じように、理科の授業でも、「これ、使える!」といった身近な教材がたくさんあります。

先日、『もったいないフェス (ふくらの杜)』に行ってペットボトルキャップを使ったものづくりを体験してきました。「これ、理科クラブでできそう!」こんな感じで、科学への物の見方・考え方を日常でも働かせながら過ごすと、自然と環境への意識や「科学っておもしろい!」の発想が湧いてくるのです。



ペットボトルキャップを小さく切ったものを集めてクッキングシートに乗せ⇒アイロンをかけて⇒完成! キャップは、はさみで簡単に切れます。そして、アイロンで簡単に溶けます。匂いも気になりませんでした。溶けた感じが超絶妙! 穴をあけて100円ショップのキーチェーンを付けると…♪

授業後の児童の様子や授業の振り返り、実験の方法や教材、観察記録や児童の成果物等を理科通信「GO! GO! 理科!」に掲載します。カラー版ロイロで閲覧してください。(たまに印刷。) また、子どもたちにも理科を発信。理科室前や印刷室前に掲示しようと思っています。1年間どうぞよろしくお願いいたします。



じゃがいもは、種ではなく、芋(種芋)から芽を出して育てます。だいたい30~40gくらいの大きさに切って植えます。小さいものはそのまま植えます。切り口は腐らないように、天日干しをし、「じゃがいもシリカ」というじゃがいも用の灰をまぶして乾燥させます。栄養も満点です。肥料としても使えます。今年度は、切らず

令和6年度の学習の様子
に植えました。6年生「植物のからだのはたらき」では、じゃがいもの葉のでんぷんを調べます。アルミ箔で葉を覆って日光を当てない葉と当てた葉を調べるため、それを理科室で観察実験できるように、培養土の袋のまま袋の中に直接種芋を植えています。

(袋栽培)



プール東側の学年花壇



職員室横で天日干し



今年度はマルチ栽培にチャレンジ

